

## はじめに

当検討委員会は、一昨年7月に設置以来、「地域力再生」を大命題として、各地に伝統的に存在する町内会をその核となる団体と位置づけ、鋭意、協議・検討を重ね、このたび、最終報告を行うに至りました。

言うまでもなく、安心安全で住み良い地域を実現するためには、共助の精神に裏打ちされた住民の連帯が大変重要であります。

それぞれの地域は、様々な課題を抱えておりますが、幸い、本市においては、町内会を中心に各種の地域活動が停止することなく根強く行われており、これは、多くの地域住民に共助の必要性が理解され、協調の精神が今でも息づいている証と見ることができます。

しかしながら、住民の価値観の多様化や会員の高齢化など、町内会活動を取り巻く環境はますます厳しい様相を呈してきております。

そのようなことを念頭に入れつつ、町内会の活動のあり方や活性化策にも踏み込んで、自由闊達な意見交換を行ってまいりました。

町内会は、規模や培ってきた歴史がそれぞれ異なり、また、地域活動に対する住民の意識も一様ではないことから、全ての地域を対象とした地域力再生を一律に論じるには限界があり、そのための即効薬的なものを見出すまでには至りませんでした。当検討委員会で取りまとめましたこの報告書を、行政はもとより、町内会の役員をはじめ、地域住民の皆様に参加としていただき、各地において地域力再生のための取組みが始まるきっかけとなることを期待しております。

鹿児島市地域力再生検討委員会  
会長 石田尾 博夫



検討委員会での意見交換風景